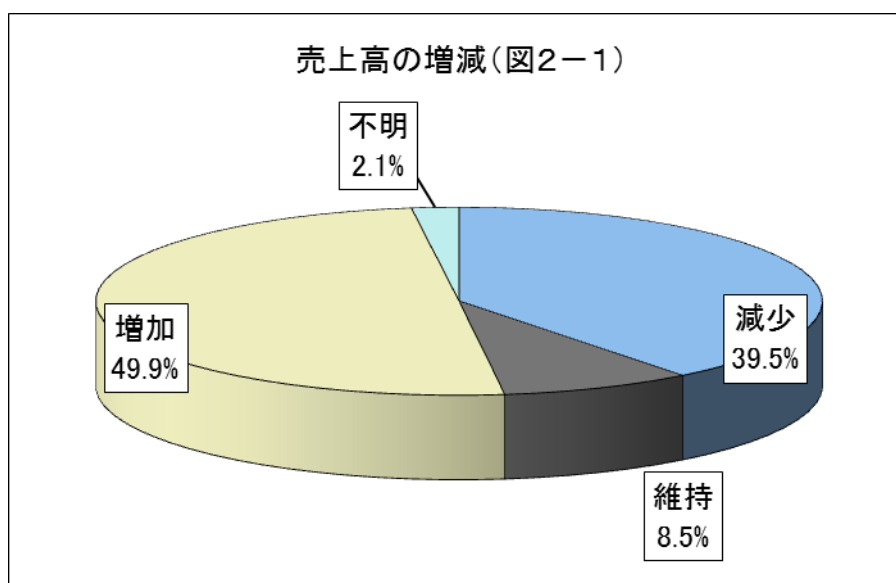


2 営業成績の状況

(1) 売上高の増減

仲卸業者全体のうち、約5割の仲卸業者が前期に比べ売上高が増加した。また、約4割の仲卸業者が売上高を減少させているが、前年に比べて減少した業者の割合は15.7ポイント減少した。

※ 前年調査 減少55.2%、維持7.8%、増加34.3%、不明2.7%



売上高の増減を部類別にみると、水産物部及び花き部では減少した業者が最も多く、青果部及び食肉部では増加した業者が最も多い結果となった。

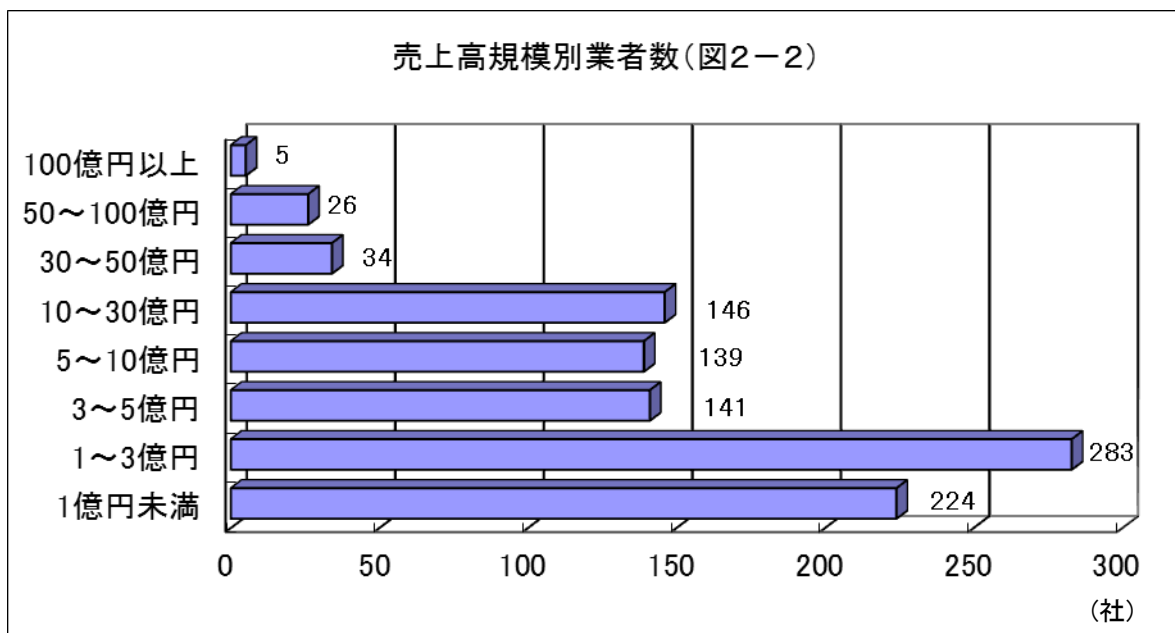
部類別・売上高の増減(表2-1)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全体	49.9%	8.5%	39.5%	2.1%
水産物部	44.9%	7.9%	45.1%	2.1%
青果部	58.9%	10.7%	27.8%	2.6%
花き部	42.9%	2.4%	54.7%	0.0%
食肉部	76.0%	8.0%	16.0%	0.0%

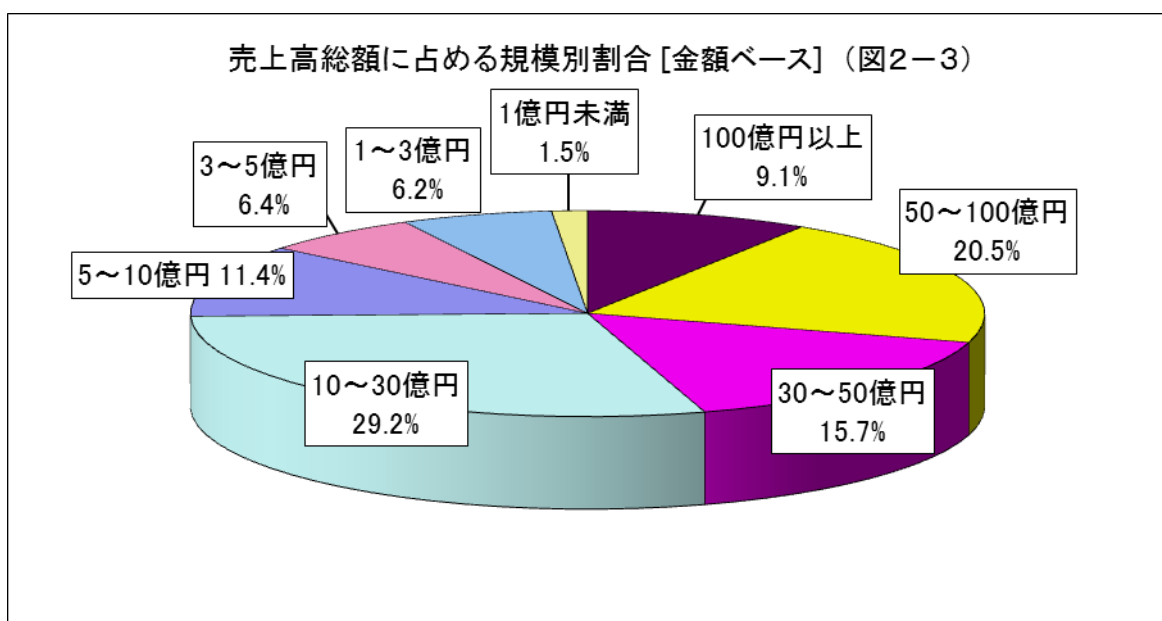
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(2) 売上高の規模別業者数

仲卸業者全体のうち、約半数（507社、50.8%）は、売上高が3億円未満の業者となっている。



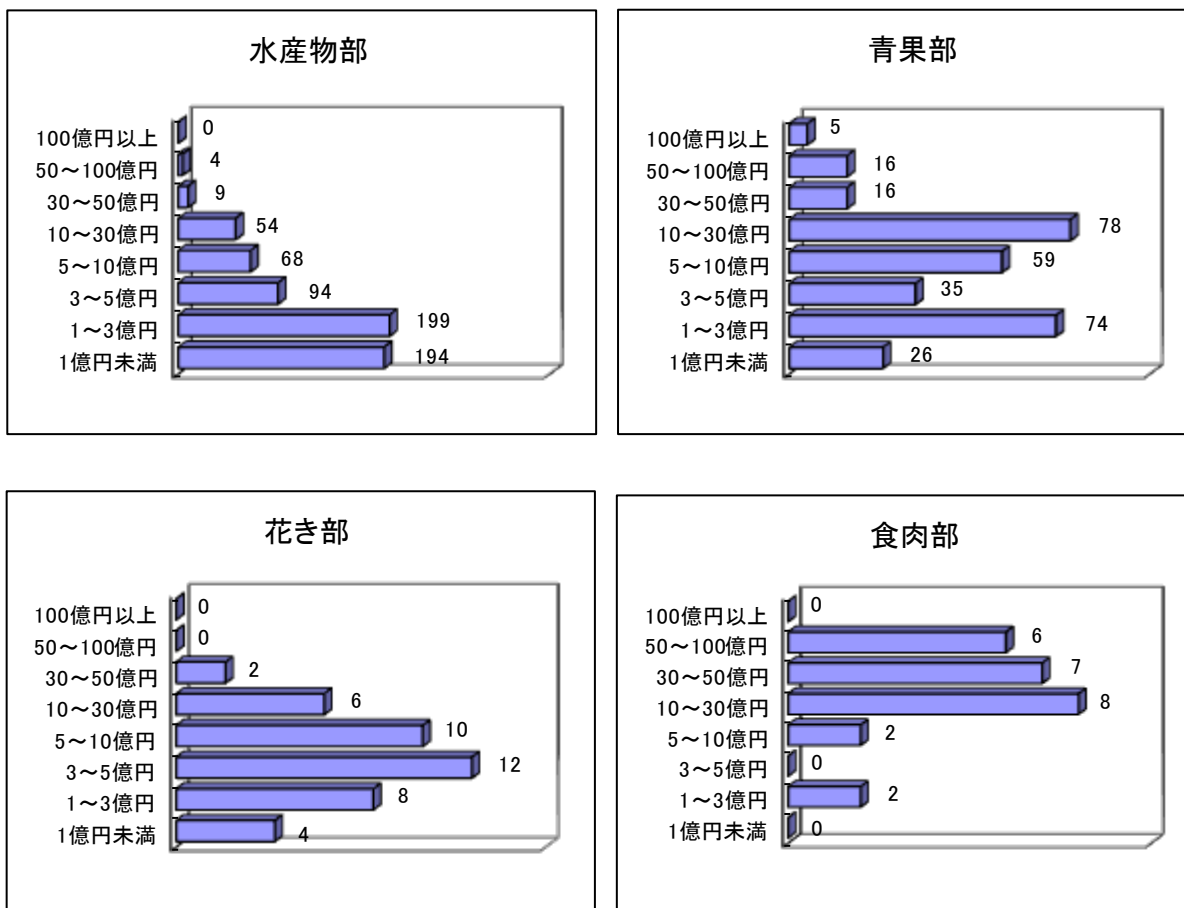
金額ベースにした売上高総額に占める規模別割合で見ると、約半数を占める3億円未満の業者のシェアは7.7%にすぎない。



(3) 売上高の規模別・部類別業者数

売上高の規模別業者数を部類別にみると、水産物部では1億円～3億円の層が、青果部及び食肉部では10億円～30億円の層が、花き部では3億円～5億円の層が最も多くなっている。

売上高規模別・部類別業者数（図2-4）



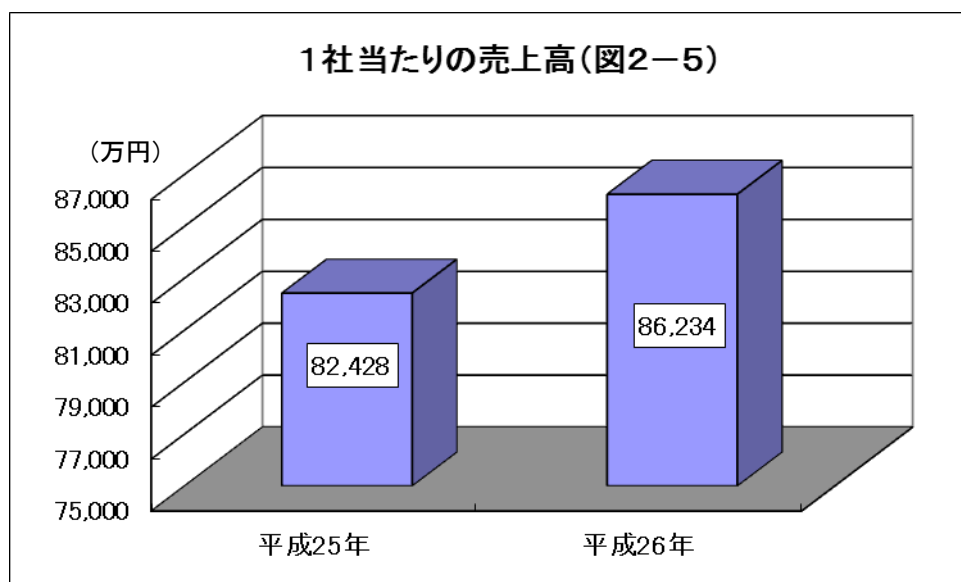
売上高規模別・部類別業者数（表2-2）

単位：社

	全 体	水 産 物 部	青 果 部	花 き 部	食 肉 部
100億円以上	5 (0.5%)	0 (-)	5 (1.6%)	0 (-)	0 (-)
50～100億円	26 (2.6%)	4 (0.6%)	16 (5.2%)	0 (-)	6 (24.0%)
30～50億円	34 (3.4%)	9 (1.4%)	16 (5.2%)	2 (4.8%)	7 (28.0%)
10～30億円	146 (14.7%)	54 (8.7%)	78 (25.3%)	6 (14.3%)	8 (32.0%)
5～10億円	139 (13.9%)	68 (10.9%)	59 (19.1%)	10 (23.8%)	2 (8.0%)
3～5億円	141 (14.1%)	94 (15.1%)	35 (11.3%)	12 (28.6%)	0 (-)
1～3億円	283 (28.4%)	199 (32.1%)	74 (23.9%)	8 (19.0%)	2 (8.0%)
1億円未満	224 (22.4%)	194 (31.2%)	26 (8.4%)	4 (9.5%)	0 (-)
合 計	998	622	309	42	25

(4) 1社当たりの売上高

仲卸業者全体の1社当たりの売上高は、前年の8億2,428万円から8億6,234万円と、3,806万円(4.6%)増加した。



部類別にみると、前年に比べ全ての部類で増加した。

1社当たりの売上高(表2-3)

	平成25年	平成26年	増減率
全体	82,428 万円	86,234 万円	104.6 %
水産物部	45,370 万円	46,273 万円	102.0 %
青果部	141,977 万円	147,218 万円	103.7 %
花き部	73,270 万円	77,092 万円	105.2 %
食肉部	312,287 万円	342,056 万円	109.5 %

(5) 売上総利益率の変化

売上総利益率（いわゆる粗利益率）は、全体では前年に比べ0.23%下降した。部類別にみると、花き部では上昇し、その他の部類では下降した。

売上総利益率（表2-4）

	平成25年	平成26年
全体	12.94 %	12.71 %
水産物部	14.91 %	14.77 %
青果部	12.34 %	12.07 %
花き部	16.38 %	17.34 %
食肉部	7.74 %	7.40 %

売上総利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合をみると、全体では6割近い業者が下降した。部類別にみると、水産物部、青果部及び食肉部では下降した業者が半数を超えた。その一方で、花き部では上昇した業者が6割を超えた。

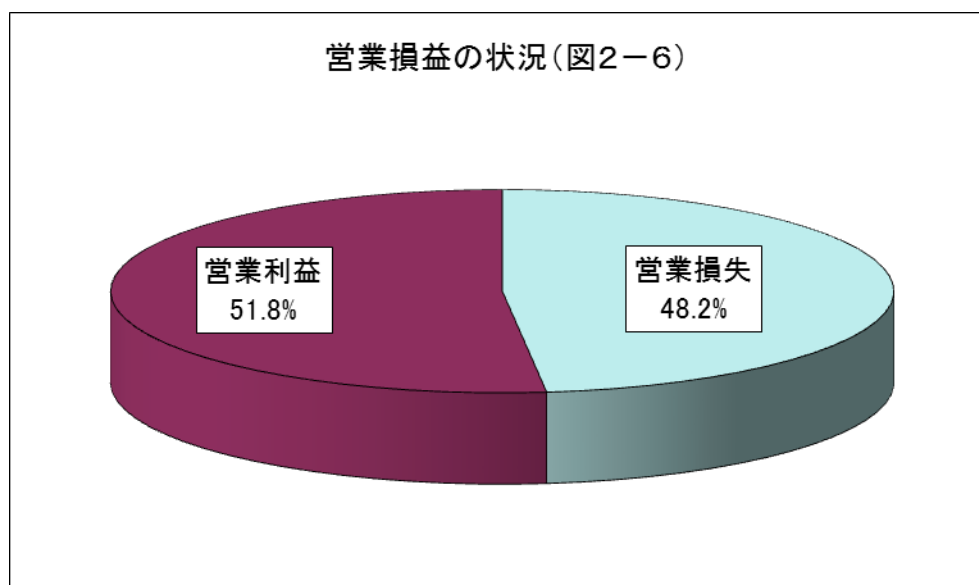
売上総利益率の変化（表2-5）

	上昇した業者	下降した業者	不明
全体	39.4 %	58.5 %	2.1 %
水産物部	38.6 %	59.3 %	2.1 %
青果部	39.2 %	58.2 %	2.6 %
花き部	64.3 %	35.7 %	0.0 %
食肉部	20.0 %	80.0 %	0.0 %

(6) 営業損益の状況

営業利益(黒字)を計上した業者の割合が51.8%、営業損失(赤字)を計上した業者の割合が48.2%と、前年に比べ、黒字となった業者の割合が増加した。

※ 前年調査では、黒字：赤字 = 51.1%：48.9%



部類別に営業利益を計上した業者をみると、全ての部類で半数以上の業者が黒字となった。特に、食肉部では7割以上の業者が黒字となった。

営業損益の状況 (表2-6)

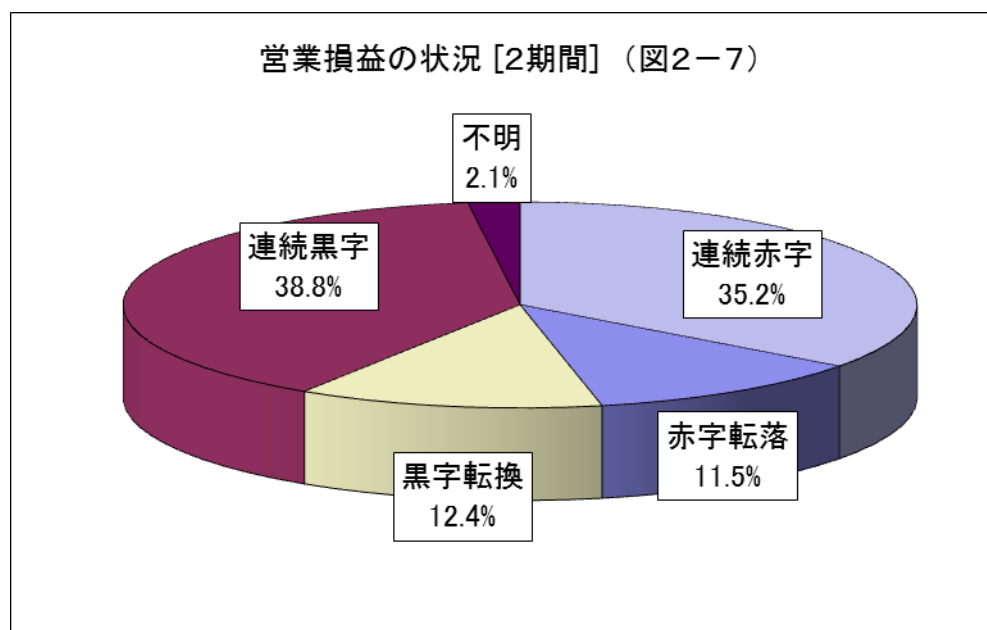
() 内は前年調査の数値

	営業利益 [黒字業者]	営業損失 [赤字業者]
全体	51.8% (51.1%)	48.2% (48.9%)
水産物部	50.0% (50.5%)	50.0% (49.5%)
青果部	52.8% (52.6%)	47.2% (47.4%)
花き部	59.5% (55.8%)	40.5% (44.2%)
食肉部	72.0% (42.3%)	28.0% (57.7%)

(7) 営業損益の状況 (2期間)

営業損益が2期連続して黒字計上となった業者は38.8%、2期連続して赤字計上となった業者は35.2%となった。黒字に転換した業者は12.4%、赤字に転落した業者は11.5%となった。

※ 前年調査 連続黒字33.4%、連続赤字36.9%、黒字転換16.4%、赤字転落10.6%



部類別にみると、2期連続黒字となった業者の割合は、花き部が最も多く42.8%であった。また、黒字に転換した業者の割合は食肉部が、赤字に転落した業者の割合は花き部が最も多くなった。2期連続して赤字となった業者の割合は、水産物部が最も多くなった。

営業損益の状況 (2期間) (表2-7)

()内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全体	38.8% (33.4%)	12.4% (16.4%)	11.5% (10.6%)	35.2% (36.9%)	2.1% (2.7%)
水産物部	37.3% (30.7%)	12.1% (18.1%)	12.1% (9.5%)	36.4% (38.5%)	2.1% (3.2%)
青果部	41.1% (38.2%)	11.0% (13.5%)	10.7% (11.5%)	34.6% (34.6%)	2.6% (2.2%)
花き部	42.8% (41.8%)	16.7% (14.0%)	14.3% (16.3%)	26.2% (27.9%)	0.0% (0.0%)
食肉部	40.0% (30.8%)	32.0% (11.5%)	4.0% (19.2%)	24.0% (38.5%)	0.0% (0.0%)

(8) 営業利益率の変化

営業利益率は、全体としては前年に比べ若干上昇した。部類ごとにみると、水産物部は下降し、青果部、花き部及び食肉部は上昇した。

営業利益率（表 2－8）

	平成 25 年	平成 26 年
全 体	0.34 %	0.38 %
水産物部	0.17 %	0.00 %
青果部	0.62 %	0.69 %
花き部	0.31 %	0.57 %
食肉部	△0.59 %	△0.07 %

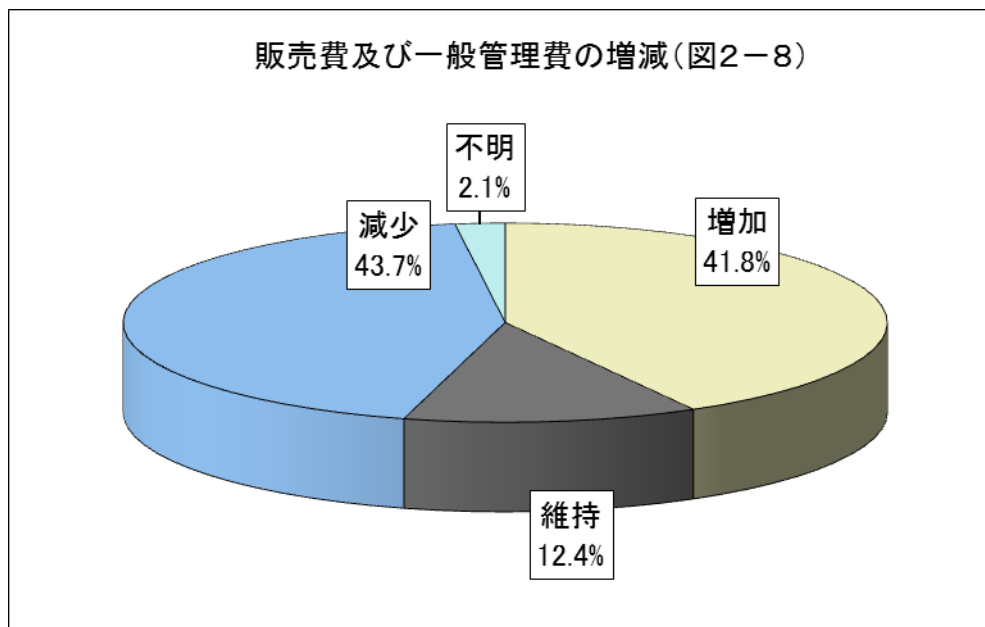
営業利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合をみると、青果部、花き部及び食肉部では上昇した業者が半数以上となった。

営業利益率の変化（表 2－9）

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	47.7 %	50.2 %	2.1 %
水産物部	44.5 %	53.4 %	2.1 %
青果部	51.8 %	45.6 %	2.6 %
花き部	54.8 %	45.2 %	0.0 %
食肉部	64.0 %	36.0 %	0.0 %

(9) 販売費及び一般管理費の増減

販売費及び一般管理費（以下、「販管費」）が減少した業者は43.7%であり、増加した業者は41.8%となった。



青果部、花き部及び食肉部では、販管費が増加した業者が減少した業者を上回り、水産物部では、減少した業者が増加した業者を上回った。

販売費及び一般管理費の増減（表2-10）

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全体	41.8 %	12.4 %	43.7 %	2.1 %
水産物部	38.7 %	12.5 %	46.7 %	2.1 %
青果部	46.2 %	12.0 %	39.2 %	2.6 %
花き部	50.0 %	14.3 %	35.7 %	0.0 %
食肉部	48.0 %	12.0 %	40.0 %	0.0 %

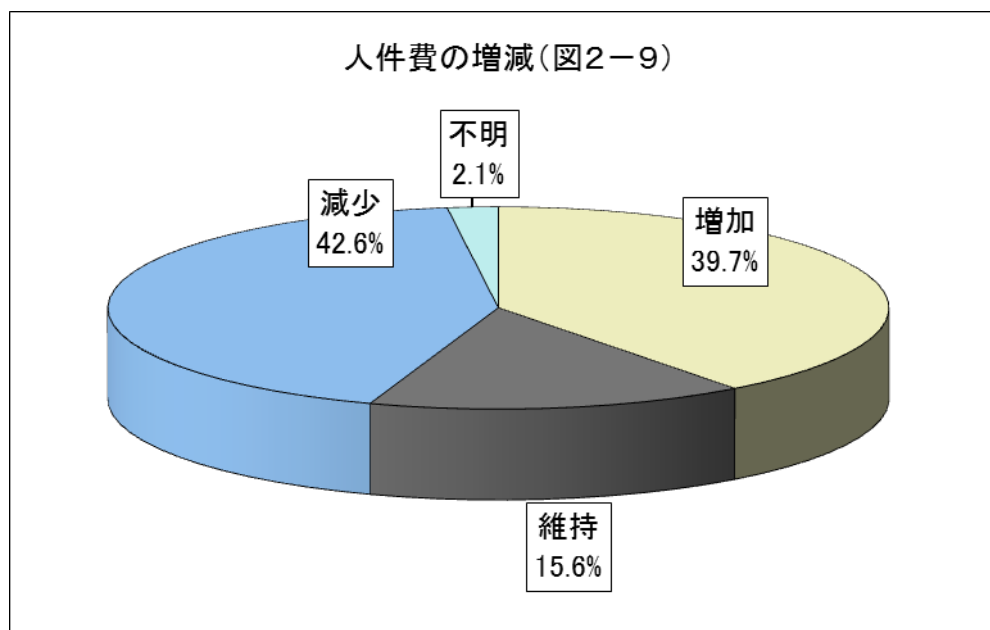
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(10) 人件費の増減

販管費の大半を占める人件費(※)が減少した業者は42.6%、増加した業者は39.7%、維持した業者は15.6%となり、前年同様、減少した業者が増加した業者を上回った。

※ 人件費とは、役員報酬、給与手当、福利厚生費、退職共済掛金など

※ 前年調査 減少48.7%、増加34.7%、維持13.9%、不明2.7%



部類別にみると、青果部及び食肉部は増加した業者が減少した業者を上回り、水産物部及び花き部は減少した業者が増加した業者を上回った。

人件費の増減(表2-11)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全体	39.7%	15.6%	42.6%	2.1%
水産物部	37.6%	16.1%	44.2%	2.1%
青果部	42.7%	15.5%	39.2%	2.6%
花き部	40.5%	14.3%	45.2%	0.0%
食肉部	52.0%	8.0%	40.0%	0.0%

※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(11) 人件費比率の変化

売上高対人件費比率は、全体では前年に比べ下降した。部類別にみると、水産物部、青果部及び食肉部は下降し、花き部では上昇した。

売上高対人件費比率（表2-12）

	平成25年	平成26年
全体	6.78%	6.59%
水産物部	8.77%	8.74%
青果部	5.91%	5.73%
花き部	9.18%	9.29%
食肉部	3.40%	2.95%

売上総利益対人件費比率は、全体では前年に比べ下降した。部類別にみると、青果部、花き部及び食肉部では下降し、水産物部では上昇した。

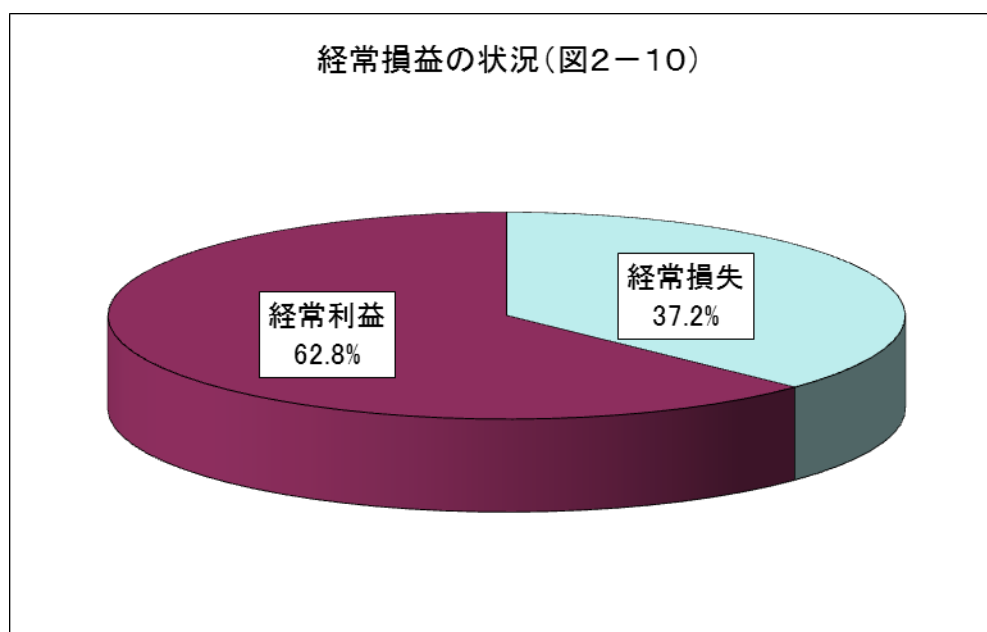
売上総利益対人件費比率（表2-13）

	平成25年	平成26年
全体	52.41%	51.88%
水産物部	58.79%	59.18%
青果部	47.90%	47.44%
花き部	56.04%	53.57%
食肉部	43.86%	39.89%

(12) 経常損益の状況

経常利益(黒字)を計上した業者の割合が62.8%、経常損失(赤字)を計上した業者の割合が37.2%と、前年に比べ黒字業者の割合が0.9ポイント増加した。

※ 前年調査では、黒字：赤字 = 61.9%：38.1%



前年と比較すると、青果部及び食肉部において黒字業者の割合が増加したが、水産物部及び花き部では減少した。

経常損益の状況 (表2-14)

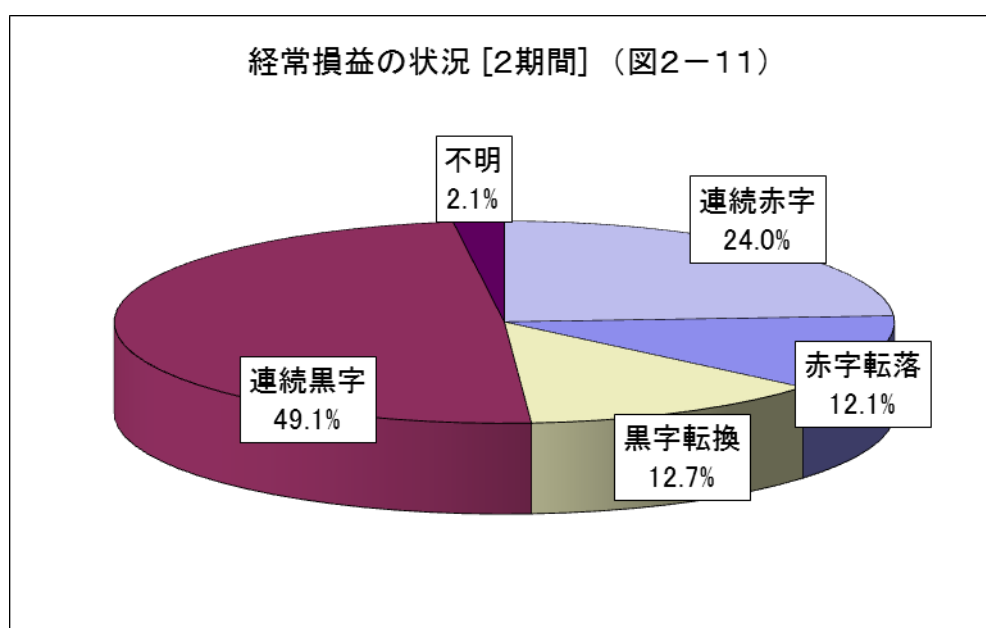
() 内は前年調査の数値

	経常利益 [黒字業者]	経常損失 [赤字業者]
全体	62.8% (61.9%)	37.2% (38.1%)
水産物部	58.5% (60.1%)	41.5% (39.9%)
青果部	70.6% (66.0%)	29.4% (34.0%)
花き部	64.3% (65.1%)	35.7% (34.9%)
食肉部	72.0% (50.0%)	28.0% (50.0%)

(13) 経常損益の状況 (2期間)

経常損益が2期連続して黒字計上となった業者は49.1%となり、前年と比べ増加した。一方で、2期連続して赤字計上となった業者は24.0%となり、前年と比べると減少した。また、黒字に転換した業者の割合が12.7%、赤字に転落した業者の割合が12.1%となった。

※ 前年調査 連続黒字43.1%、連続赤字25.9%、黒字転換17.0%、赤字転落11.3%



部類別にみると、連続黒字業者の割合は青果部、花き部及び食肉部では5割を超えているが、水産物部では5割に届かなかった。

経常損益の状況 (2期間) (表2-15)

() 内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全体	49.1% (43.1%)	12.7% (17.0%)	12.1% (11.3%)	24.0% (25.9%)	2.1% (2.7%)
水産物部	45.9% (40.5%)	11.7% (17.8%)	13.3% (10.3%)	27.0% (28.2%)	2.1% (3.2%)
青果部	55.1% (47.8%)	13.9% (16.0%)	10.0% (11.9%)	18.4% (22.1%)	2.6% (2.2%)
花き部	50.0% (51.1%)	14.3% (14.0%)	16.7% (18.6%)	19.0% (16.3%)	0.0% (0.0%)
食肉部	52.0% (34.6%)	20.0% (15.4%)	0.0% (19.2%)	28.0% (30.8%)	0.0% (0.0%)

(14) 経常利益率の変化

経常利益率は、全体では0.68%とほぼ前年並みであった。部類ごとにみると、水産物部では下降したが、その他の部類では上昇した。

経常利益率（表2-16）

	平成25年	平成26年
全体	0.67%	0.68%
水産物部	0.55%	0.40%
青果部	0.93%	0.97%
花き部	0.42%	0.55%
食肉部	△0.28%	0.07%

経常利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合をみると、食肉部では上昇した業者が下降した業者を上回っているが、その他の部類では下降した業者が上昇した業者を上回った。

経常利益率の変化（表2-17）

	上昇した業者	下降した業者	不明
全体	46.2%	51.7%	2.1%
水産物部	44.7%	53.2%	2.1%
青果部	47.6%	49.8%	2.6%
花き部	45.2%	54.8%	0.0%
食肉部	68.0%	32.0%	0.0%

(15) 従事員1人当たり売上高

従事員1人当たり売上高は、花き部では減少したが、その他の部類においては増加した。

従事員1人当たり売上高(表2-18)

	平成25年	平成26年
全体	7,717 万円	8,060 万円
水産物部	5,763 万円	5,819 万円
青果部	9,206 万円	9,829 万円
花き部	4,954 万円	4,840 万円
食肉部	17,924 万円	19,704 万円

従事員1人当たり売上高が増加した業者数と減少した業者数の割合をみると、全体では増加した業者が多かった。部類別にみると、花き部では減少した業者が上回ったが、その他の部類では増加した業者が上回った。

従事員1人当たり売上高の増減(表2-19)

	増加した業者	減少した業者	不明
全体	52.8 %	44.9 %	2.3 %
水産物部	49.0 %	48.7 %	2.3 %
青果部	58.9 %	38.2 %	2.9 %
花き部	42.9 %	57.1 %	0.0 %
食肉部	88.0 %	12.0 %	0.0 %

(16) 従事員1人当たり売上総利益

従事員1人当たり売上総利益は、水産物部では前年と同額であったが、その他の部類では増加した。

従事員1人当たり売上総利益(表2-20)

	平成25年	平成26年
全体	999 万円	1,024 万円
水産物部	859 万円	859 万円
青果部	1,136 万円	1,186 万円
花き部	811 万円	839 万円
食肉部	1,388 万円	1,457 万円

従事員1人当たり売上総利益が増加した業者数と減少した業者数の割合をみると、全体では減少した業者が多かった。部類別にみると、水産物部では減少した業者が上回ったが、その他の部類では増加した業者が上回った。

従事員1人当たり売上総利益の増減(表2-21)

	増加した業者	減少した業者	不明
全体	47.6 %	50.1 %	2.3 %
水産物部	43.4 %	54.3 %	2.3 %
青果部	53.4 %	43.7 %	2.9 %
花き部	57.1 %	42.9 %	0.0 %
食肉部	64.0 %	36.0 %	0.0 %

(17) 従事員1人当たり人件費

従事員1人当たり人件費は、水産物部及び青果部では増加したが、花き部及び食肉部では減少した。

従事員1人当たり人件費(表2-22)

	平成25年	平成26年
全体	523万円	531万円
水産物部	505万円	509万円
青果部	544万円	563万円
花き部	455万円	449万円
食肉部	609万円	581万円

従事員1人当たり人件費が増加した業者数と減少した業者数の割合をみると、水産物部、花き部及び食肉部では減少した業者の割合が5割以上となった。

従事員1人当たり人件費の増減(表2-23)

	増加した業者	減少した業者	不明
全体	47.7%	50.0%	2.3%
水産物部	46.7%	51.0%	2.3%
青果部	49.5%	47.6%	2.9%
花き部	47.6%	52.4%	0.0%
食肉部	48.0%	52.0%	0.0%